

情報公開文書

| | |
|------|---|
| 名 称 | 高濃度注射用カリウム製剤の使用 |
| 使用薬剤 | KCL注 20mEq キット 20mL アスパラギン酸カリウム注 10mEq キット 10mL |
| 対 象 | 添付文書に記載された方法で治療困難な低カリウム血症患者 |
| 承認日 | 2025年1月7日 |
| 対象期間 | 承認日から永続的に使用 |
| 概 要 | <p>目 的</p> <p>低カリウム血症に対する治療は、内服でのカリウム補充を行いますが、重症の場合や内服困難な場合は注射剤を使用します。注射用カリウム製剤は、添付文書において、40mEq/L 以下に希釈し 20mEq/hr 以下の速度で最大投与量は 100mEq 以下/日で使用することとされています。しかし、患者さんの病状によっては、輸液量を絞る必要がある場合や補正を急ぐ場合に高濃度で使用する場合があります。使用の際は心電図モニターを装着し、血清カリウム値を確認しながら、慎重に投与を行います</p> <p>予想される不利益と対策</p> <p>カリウム補充により、血清カリウム値が予想を超えて上昇し、高カリウム血症となる場合があります。その場合、重篤な不整脈や心不全をきたす恐れがあります。また高濃度で投与した場合、血管痛や静脈炎の恐れがあります。その場合は速やかに投与を中止または減量を検討します。低カリウム血症が改善され次第、高濃度注射用カリウム製剤の使用は終了し、添付文書で定められた使用方法へ移行します。</p> |
| 連絡先 | JCHO 埼玉メディカルセンター 各診療科 048-832-4951 (代表) |
| | |